

# 病院薬剤師への招待

中小病院紹介版

Ver.1.0



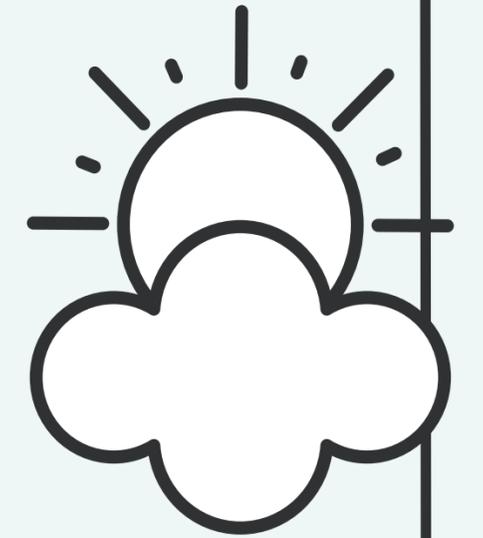
Adobe Stock | #637886308



Adobe Stock | #869458754

Adobe Stock | #560294352

# 中小病院のイメージ



どのようなイメージを持っていますか？  
大病院とはどのように違うと思いますか？

---

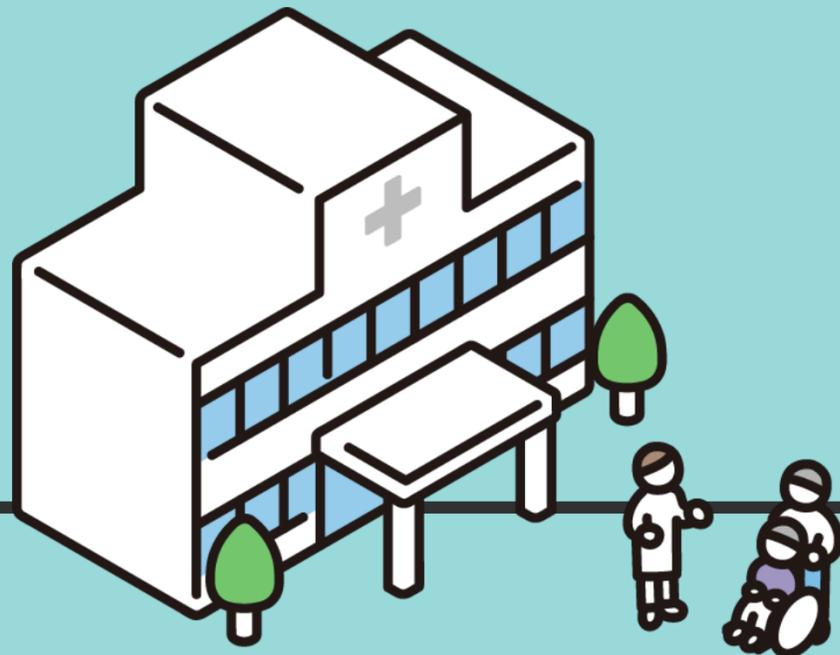
規模の違いが

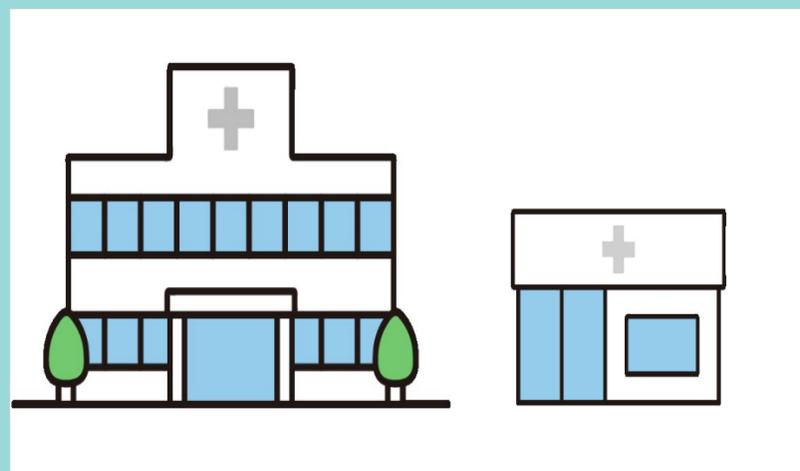
こういった薬剤師業務上の特徴があるのかを紹介します。



Facility scale

# 01 病院機能の紹介

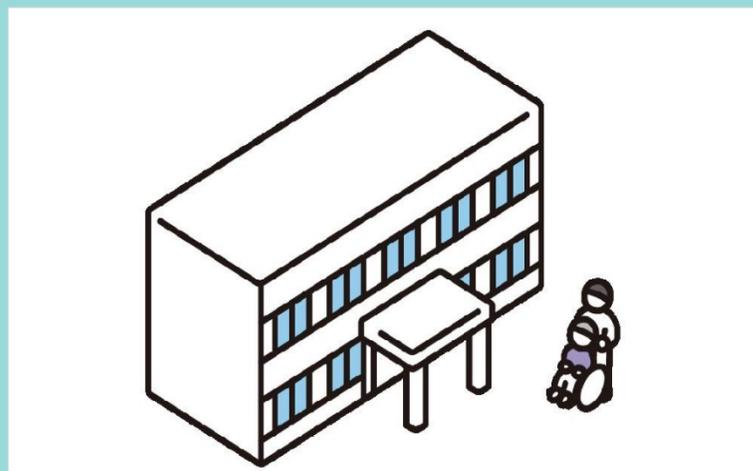
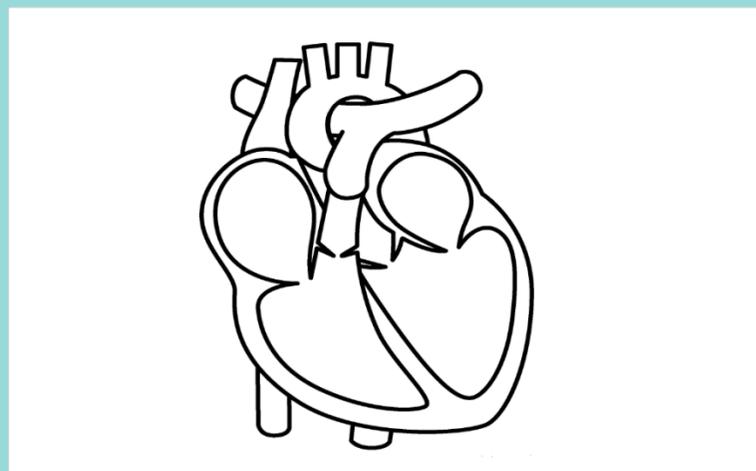




CLICK

# 病院機能の紹介

CLICK



## 病院は機能別に分かれる

- 最先端の医療で命を救う（高度急性期）

特定機能病院・救命救急センター

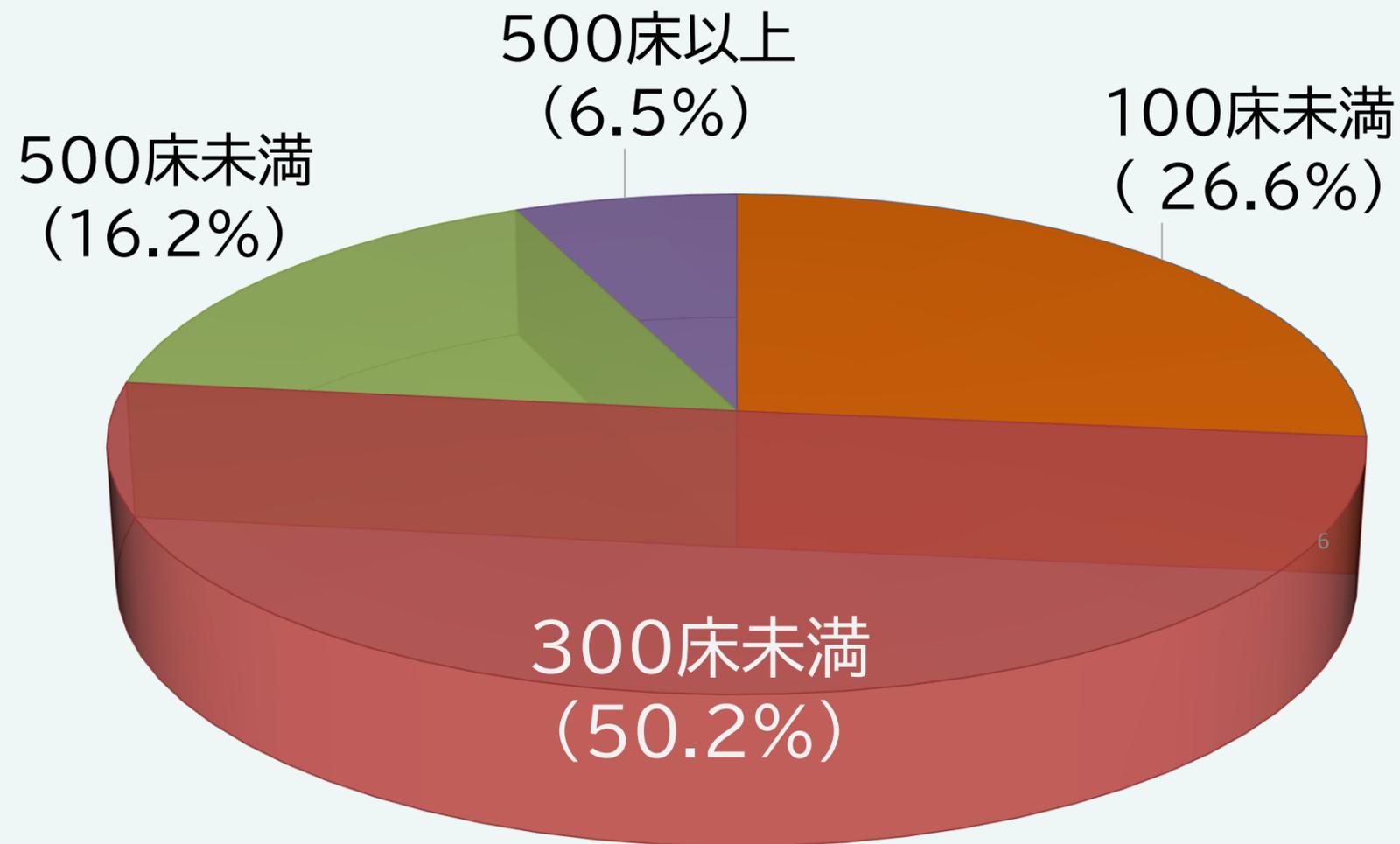
- 特定機能病院を支える（高度・急性期）

地域医療支援病院

- 「日常にもどる」を支える（回復期・慢性期）

在宅療養支援病院・療養型病院

# 病院は規模別に分かれる



300床未満という規模の病院が  
計76.8%

比較的にコンパクトな病院が多い

日病薬の会員施設の病床規模別割合  
(2024.5)

# ケアミックスという機能



一般病床と療養病床、精神病床、  
専門医師配置など  
複数の医療機能に対応した  
外来・病棟を持つ病院



状態の悪化した患者さんの  
緊急入院もしばしば

Adobe Stock | #801260535



Acute/subacute/care/support

## 専門単科機能

専門医師を配置し、  
高度な専門治療を担う機能に特化した  
外来・病棟を持つ病院

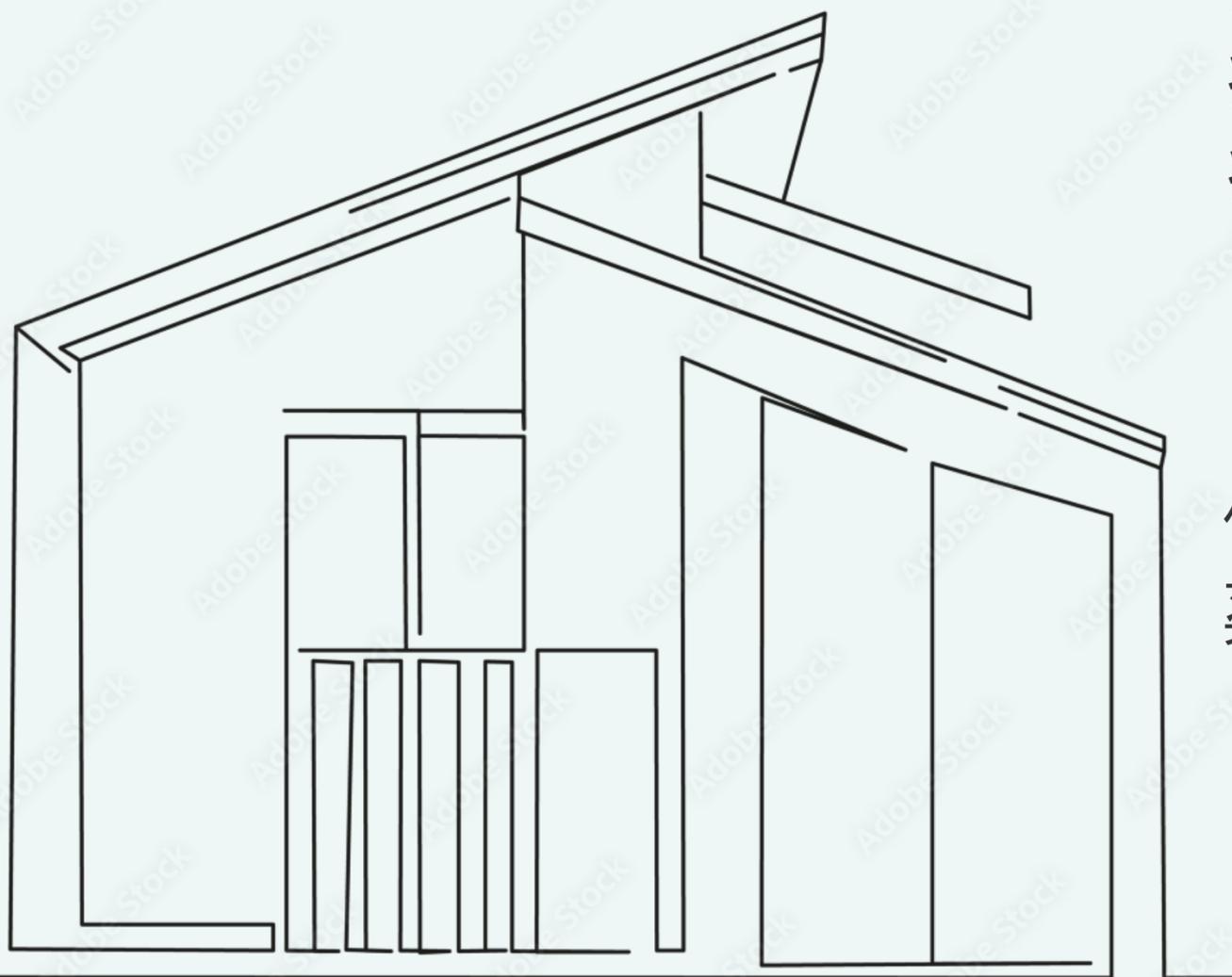
循環器科  
脳神経外科  
眼科  
人工透析  
産婦人科などがある



# 病院・診療所と施設の併設

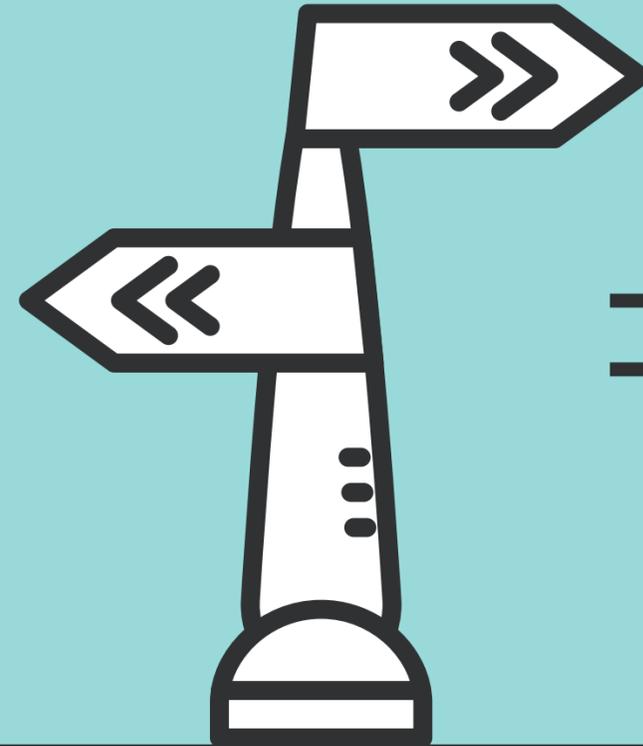
- 病院・診療所 + 介護老人保健施設
- 病院・診療所 + グループホーム
- 病院・診療所 + 訪問看護ステーション

何らかの施設を併設し  
薬剤師が関与しているケースがある。



# Facility scale

02



コンパクトの利点

# Facility scale

02



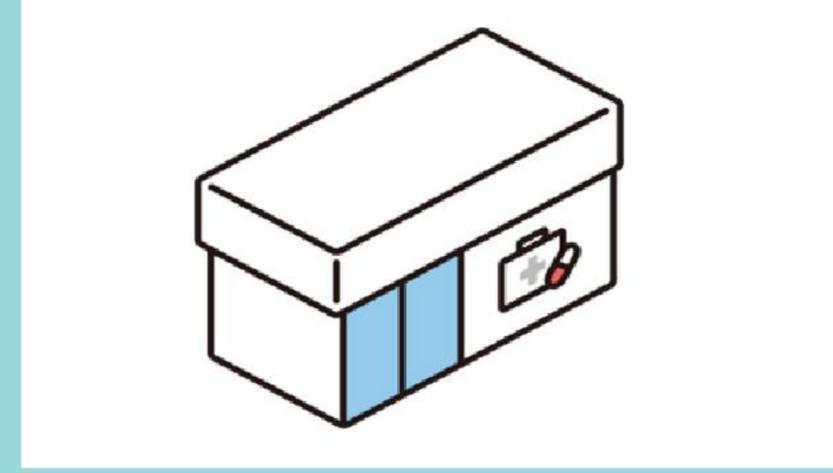
コンパクトの利点



CLICK

# コンパクトの利点

CLICK



# 施設規模がコンパクトなら

## 01 職員同士の距離感が近い



相談しやすい関係性も構築されやすい。

名前と呼んでくれることは期待に応えたい！

というマインドを刺激する。

他職種とクロストーク。

協力関係が構築されやすい。



# 施設規模がコンパクトなら

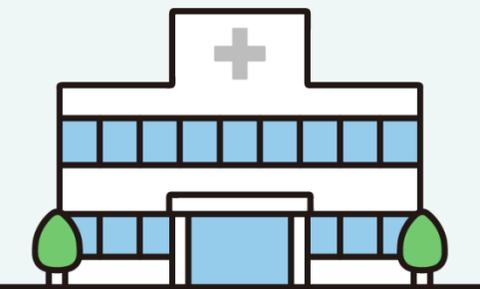
## 02 治療での最大のパートナー 医師とも近い

医師ともよく会う。「さっきはありがとう」と。

薬剤部門に直接来てくれる。

（薬の相談、雑談、ドリンクタイムは次の仕事のヒント）

逆に医局にも自ら足を運ぶ。



# 施設規模がコンパクトなら

## 03 皆で行う業務の協力感

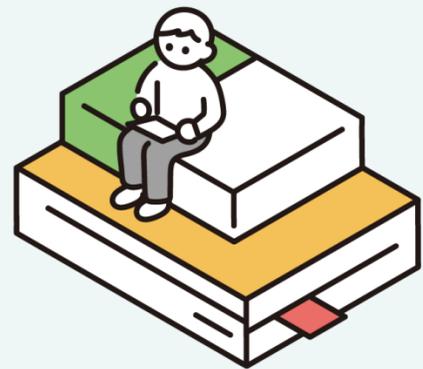


中央調剤、病棟業務、DIという基本業務を総力で対応。  
働き方改革もあり、定時退勤をする病院は増加。  
プライベート時間を大切にする病院も。



# 施設規模がコンパクトなら

## 04 委員会活動も兼務やマルチに



医療安全、ICT、NST、褥瘡等、医療的な委員会活動も。  
先輩のサポートのもと、兼務やマルチに行われる。  
学習や発想も集学的となる。

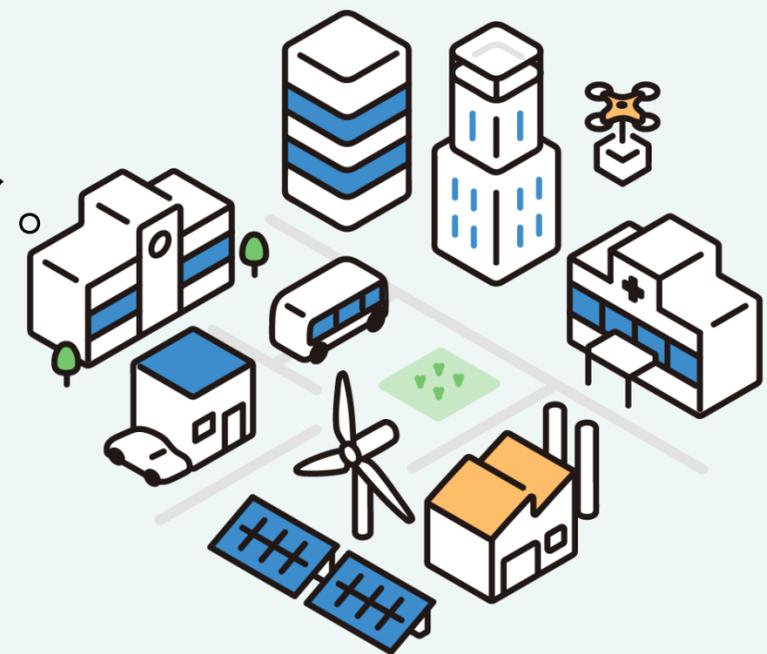


# 施設規模がコンパクトなら

## 05 入院、外来、地域医療



医療は地域に広がり、自施設のみでは遂行不可能。  
保険薬局、専門病院、介護・高齢者施設、在宅と様々。  
薬物治療の切れ目ない情報提供・連携が重要。  
逆に外来での薬歴情報の提供をうけることも重要



# 施設規模がコンパクトなら

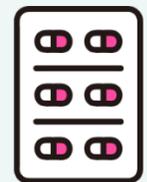
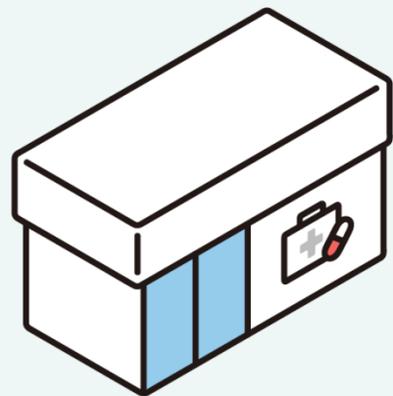
## 06 保険薬局は重要な連携パートナー

地域外来医療を支える連携パートナーの保険薬局。

連携に積極的な中小病院が多くあります。

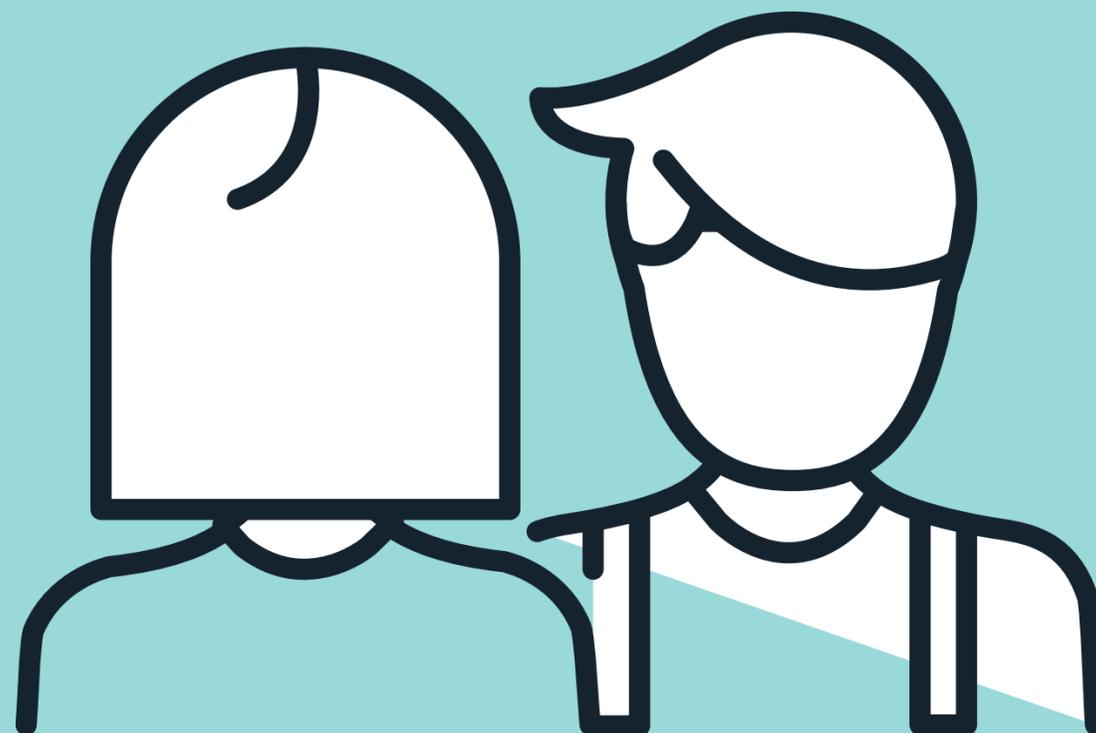
がん、生活習慣病、広域な感染対策、入院後の治療薬の追加、

減薬等、密な情報交換が患者利益に。

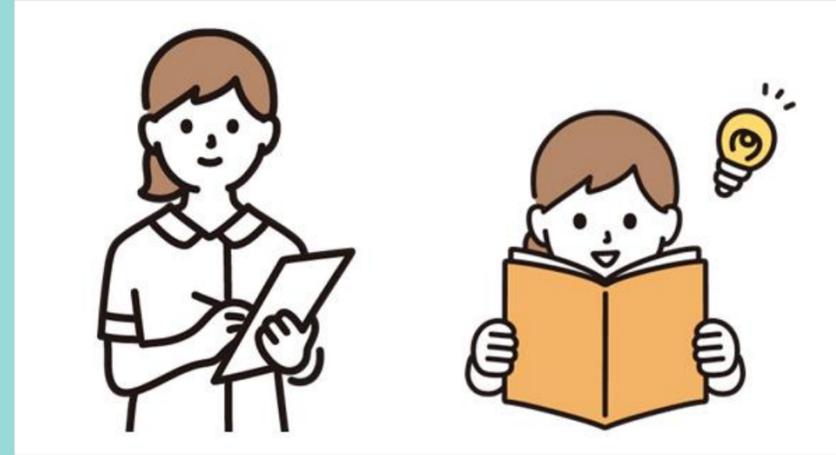


PROCESS

03



コンパクト その本質



# コンパクト その本質



## 距離感の近さ = 刺激の多さに繋がる



医師が近ければ対話、質問もされやすく非常に刺激的である。  
それは学習意欲の向上に繋がる。

看護師が近ければ薬のことを聞かれ、頼られる。

患者症状について看護師より得られる情報も良い勉強になる。



## 回復期病棟（地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）



中小病院では地域包括ケア病棟をもつことが多い。  
診療科別一般病棟と違い、様々な疾患・薬剤を投与中の患者さんの転院がある。

幅広い薬剤の知識が生きる、頼られる。  
「頼られる」は、やりがいに繋がる。



## 新しい活動が生まれやすい、実行しやすい

中小の医療機関では多くのユニークな取り組みを行っている。

日本病院薬剤師会ホームページに掲載

<https://www.jshp.or.jp/activity/guideline.html>

施設の規模がコンパクトであれば組織上の決定も動きが早い。

結果、取り組みやすい、テストしやすい。

いち科学者として、学術・研究活動の自由度も。



## 地域の中小病院ネットワーク



地域の（もしくは全国の）ネットワークにより状況・情報交換。  
自院で適用できる取り組みか？他の発想のヒントにもなる。  
ネットの時代。自ら、どこからでも（海外からも）情報入手し、  
施設内で適用を考えられる。



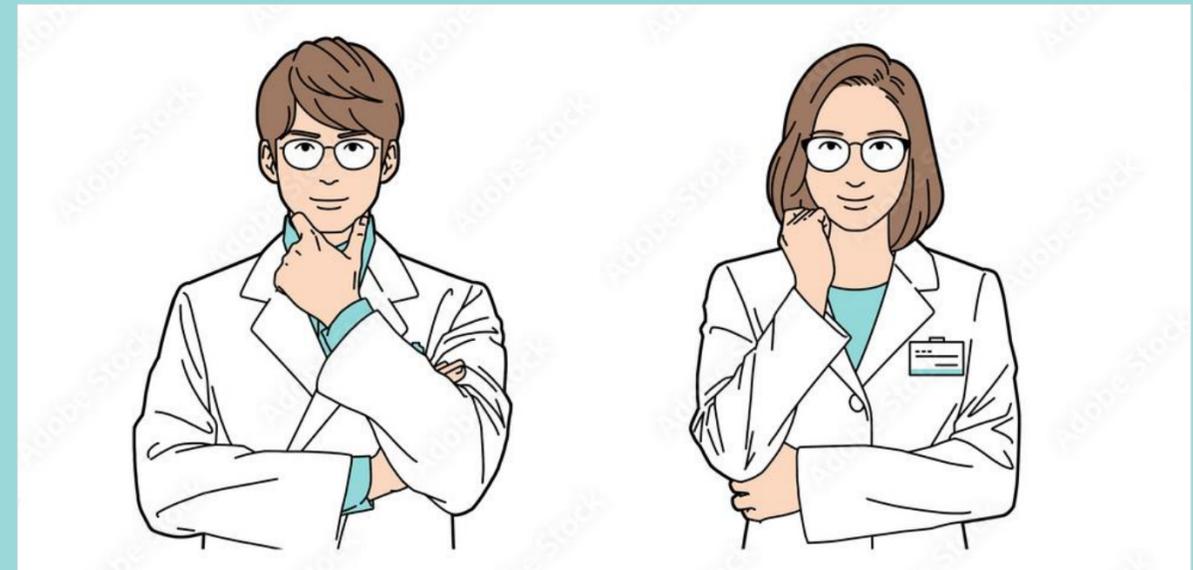
# TRAINING & LEARNING

04



日々の学び・研修

# 日々の学び・研修



# 入院患者さんが近い 症状チェックに動線が近いのは重要

01

入院患者さんの症状変化は早い。  
変化をつかむには直接赴く、常駐、看護師との情報交換が重要となる。  
病院全体でどういったことが起きているか？この把握もコンパクトな  
施設では有利である。  
保険診療の情報も得ることも可能。

症例トレースしている患者さんに対応、判断できるスキルが必要になる



## 認定、専門薬剤師の取得も可能

02

中小病院でも多くの薬剤師が認定や専門等の資格を取得。

各専門チームを設置し、薬剤師がチームを牽引する場合も。

診療報酬での後押しがある専門領域ではその活躍に病院も支援。

その取得を支援してくれる病院も。





〇〇純 (入社24年目)  
薬剤課長・ICT所属・医療安全所属  
・抗菌化学療法認定

趣味は登山&キャンプ。  
世界のアウトドアを極めます。

〇〇みずほ (入社10年目)  
主任・がん化学療法認定・  
緩和ケア認定

ヨガの修行でインドまで赴く  
本格派。



- チーム紹介 -  
**薬剤部門**  
スタッフ

〇〇大河 (入社6年目)  
病棟・調剤・NST所属  
・NST専門療法士

スポーツ好きならではの  
スポーツ観戦ツアーを多く立案。



〇〇藍 (入社3年目)  
病棟・調剤室・ICT所属・  
認定勉強中

趣味は登山&キャンプ。  
世界のアウトドアを  
極めます。



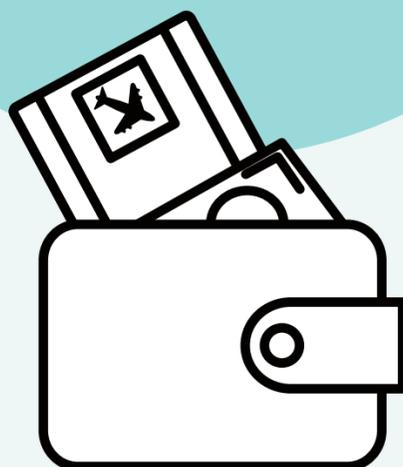
〇〇龍平 (入社1年目)  
病棟・調剤室

島好きで最近のお気に入り  
はマルタ島。



〇〇香澄 (入社8年目)  
病棟・調剤・クリニカルパス担当

ワイン、オペラ好きを生かした  
旅行立案が得意。



# 薬剤部門 1日のスケジュール



8	●	.....	8 : 3 0	業務開始。今日の予定、情報交換会
9	●	.....	9 : 0 0	それぞれ病棟へ出動！調剤も開始
1 0				(この間 病棟で奮闘、退院対応、本日・明日の調剤、がん化学療法調製)
1 1	●	.....	1 1 : 4 5	昼のミーティング、各病棟・調剤室情報交換
1 2	●	.....	1 2 : 0 0	ランチ
1 3				(1時間休憩し、再び病棟で奮闘、本日・明日の調剤)
1 4	●	.....	1 4 : 0 0	医療安全ミーティング（金曜日）、NSTラウンド（木曜日）
1 5	●	.....	1 5 : 0 0	認知症ラウンド（木曜日）
1 6	●	.....	1 6 : 0 0	ICTラウンド（木曜日）、在庫発注（アシスタント）
1 7	●	.....	1 7 : 0 0	明日のタスク確認
	●	.....	1 7 : 3 0	退勤

# 業務構成

## 05 医薬品情報

DIとして正確な情報を収集、各医療者に提供。副作用発生状況など。欠品・供給・代替提案情報も重要。

## 04

### 委員会活動・ チーム医療ラウンド

病院薬剤師は院内の各種委員会に必要とされ委員選出の多い部門の一つ。  
ラウンドでは要となることも。

## 03 病棟業務

オーダー監査、服薬指導、医師・看護師と薬物治療協議、  
オーダー修正代行を行うことも。



## 01 情報交換

患者さんの様々な情報（投薬、注射、検査値、臨床経過、退院予定、特殊調剤など）の共有。

## 02

### 調剤（内服・注射）

### 注射剤混合調製

アシスタントと協力し、欠品・供給情報も共有しつつ遂行。  
がん化学療法、高額薬剤の調製。

# あなたも 中小病院で“病院薬剤師”を実現しませんか

日本の大多数を占める中小病院。

そこには誠実に臨床症例をトレースしながら、患者と伴走し、  
医師・看護師とともに治療を遂行する姿を具現化している臨床  
薬剤師がいます。新しいことにチャレンジし、ジェネラルに、  
時に専門的に活躍する・・・そんな薬剤師になりませんか